

“やりたくてもできない…”方法がなかった場所の安全対策 通学路の危険な水路に転落防止柵「サケットガード」を設置

山梨県忍野村内の通学路に2021年6月17日、用水路への転落防止対策として株式会社宝機材（本社：岐阜県瑞穂市/代表取締役社長：浅野寛榮）より販売中の取り付けや撤去が簡単で道路の幅も狭くならない転落防止柵「サケットガード」が設置されました。

同商品は転落の危険性があり何らかの対策が必要とされながらも、様々な事情で蓋やフェンスが設置できない水路の安全対策として開発された商品です。



設置前の用水路



設置後の用水路



道路幅に影響が出ない構造

<施工前の状況>

- ・近くに小学校と中学校があり生徒児童が通学路として利用している農道。
- ・用水路は深さ1.3m×幅1.3mと大型で転落すると非常に危険。
- ・道路幅への影響やコンクリートに穴をあけられない等の事情で一般的な設備がつけられない区間約340m。
- ・街灯がなく夜間は水路が見にくい。
- ・富士北麓に位置する忍野村は景観計画区域であり建築物、工作物の色彩に配慮する必要がある。

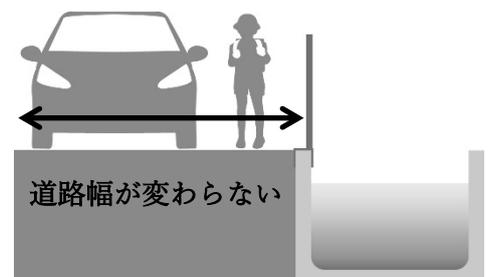
一般的な転落防止柵の場合



<改善後の状況>

- ・転落事故の危険性が減り歩行者の安全性が高まる。
- ・水路内側に柵が立つため道路が狭くならない。
- ・蓋をしなため雨水の排水性に影響がない。
- ・柵の高さやライトの反射によって夜間でも水路の存在がわかりやすい。
- ・景観に配慮したダークブラウンで自然に調和する。

サケットガードの場合



本件についてのお問い合わせ先

株式会社宝機材 総務部 広報担当：大澤亜希子

TEL：058-327-2222 メール：osawa@takara-kizai.com 住所：岐阜県瑞穂市別府1723-1